

しょうがいしゃ

ちいき せいかつ しょうほうし



# 「障害者」の地域生活情報誌

Vol. 26

# ぶるーむ.com

2015.02

ふゆごう  
冬号

じぶん せいかつたの  
～ 自分の生活楽しんでますか？ ～

あけおめです♪



## CONTENTS

P2 新代表あいさつ

P4 感謝祭報告

P7 なおみちゃん舞遊デン

P9 Oh-Life!!

P11 ぶるーむ活動報告

### ◆「ぶるーむ」の由来◆

英語のbloomをひらがな表記したものです。  
bloomには、「(花が)咲く」「(才能・事業などが)花開く」などの意味があります。この北九州の地で、自立生活の土壌をあらためておこすことから始め、それぞれの自立生活の種を植え、色とりどりの自立生活の花が咲きほこるという願いをこめました。

## 新代表あいさつ

2007年10月に産声をあげた、私たち“自立生活センター ぶるーむ”も8年目を無事に迎えることができました。これもひとえに、会員のみなさま及び関係者のみなさまのご協力のおかげであります。この場を借りて、まずはお礼を申し上げたいと思います。

さて、昨年12月のぶるーむ総会において、私、後郷法文が代表を務めさせていただくことになりました。なお、前任の田中雄平は療養中の身ですが、引き続き理事を務めさせていただきます。まずは略儀ながら書中をもってご挨拶申し上げます。

広く障害福祉の世界に目を移しますと、2006年に国連で障害者権利条約が採択されて以降、日本においても2011年に障害者基本法の抜本改正、2013年に総合支援法の施行、同年に差別解消法の成立と慌ただししい変化を続けております。

これは障害者を保護の客体から権利の主体へと転換し、インクルーシブな共生社会（障害者も含めてすべての人がともに暮らす社会）を創造するという、我々が目指してきた方向であります。

一方、景気の悪化から福祉予算は削減され、この流れにブレーキをかけかねない状況もあり、より一層の運動の強化、すなわち、障害当事者による自立生活の実践を行っていかねばなりません。

これまでぶるーむでは「自分らしく生きる」「生活を支える」「地域をつくる」の三つを柱に活動して参りました。立上げから3年は前団体から引き継いだ介護サービスを継続することが最優先課題でした。まずは、障害当事者の生活を支え続ける、そのことだけで精一杯だったように思います。

そして、3年を経て介護サービスはある程度、安定的・継続的に供給できるようになりました。と同時に、自立生活センターとは何なのか、どうあるべきか、ここ数年は自立生活センターとしての将来をみんなで考え、当たり前の組織のあり方を見直し、当たり前を徹底し、これまでできていなかったこと、やるべきことを整理して参りました。まだまだ不十分ではありますが、最近になって、その効果もようやく出はじめているように思います。

じりつせいかつ  
自立生活センターとしてなすべきこと、やらなければならないこと、それは一言で言  
ひとこと い  
えば、“自立（自己選択・自己決定）した障害当事者の仲間を増やすこと”です。自己  
じりつ じ こせんたく じ こけつてい しょうがいとうじしゃ なかま ぶん  
選択・自己決定で自分の人生を主体的に生きれば、必ず不完全な社会の壁や差別に突き  
せんたく じ こけつてい じぶん じんせい しゅだいてき い かなら ぶんかんぜん しゃかい かべ さべつ つ  
当たります。そのときに立ち向かえる当事者を、そして、それを支える仲間を増やして  
あ たち む とうじしゃ ささ なかま ぶん  
いくことが自立生活センターの使命であると考えます。  
じりつせいかつ しめい かんが

ひとり おお なかま じりつ ちいき せいかつ ちいき しゃかい ほう せいど  
一人でも多くの仲間が自立して地域で生活することが、地域や社会（法や制度）を  
こうかてき か さいぜんさく しん ひつよう  
効果的に変えていく最善策だと信じております。そのために必要なこと、そのすべてが  
じりつせいかつ かんが  
自立生活センターのサービスだと考えます。

はなは びりょく さいぜん つ ぶんこつさいしんどりょく かくご  
甚だ微力ではございますが、最善を尽くし粉骨砕身努力いたす覚悟でございます。  
こんご いっそう しえん きょうどう たまわ ねが もう あ  
今後とも一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

いちがつきちじつ  
一月吉日

じりつせいかつ  
自立生活センター ぶる一む  
だいひょう ごごうのりふみ  
代表 後郷法文

## そうかいほうこく 総会報告

さくねん がつ にち ど きだきゆうしゅう だい かいつうじょうそうかい おこな  
昨年12月20日(土)、北九州まなびとESDステーションにて第7回通常総会を行  
いしました。おそが なか にん かいいん かた しゅつせき  
いました。お忙しい中、10人の会員の方が出席してくださいました。  
しわす いそが じ き しゅつせき みなさま  
師走の忙しい時期に出席して下さった皆様、ありがとうございます！！

にんきまんりょう ともな すえよしなつこりじ おだかすえりじ たいにん  
任期満了に伴い、末吉奈津子理事と小田一恵理事が退任いたしました。

すえよしりじ き こんき おだりじ き こんき  
末吉理事はぶる一む3期より今期まで、小田理事は2期より今期まで、それぞれぶる  
りじ じんりょく ほんとう  
一むの理事として尽力していただきました。本当にありがとうございます。

# ぶるーむ感謝祭回顧

立春とはいえ、まだ寒い日が続きますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？

ここからは昨年度末に行われた、「ぶるーむ感謝祭」の報告をさせていただきます。

3ページぶちめきですので、きっちりかっちりお伝えしますよ！

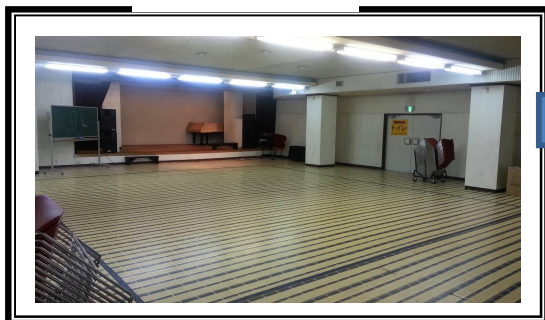
3度目となった昨年の感謝祭ですが、参加者が多く、会場を広くして欲しいとの意見を頂いていたので、今回は場所を変えて行ってみました。

いやー、会場探し大変でしたー。

オシャレでー、ステージがあってー、バリアフリーでー、交通のアクセスも良いところー、そんな会場なかなかありません！！どなたか建ててください！！

下の写真が今回行った会場で、楽器店にあるホールをお借りしました。

BEFOR



AFTER



写真のように広い会場でしたので、車いすのユーザーも身動きがとれないといった思いはせずに済んだのではないかと思います。

ホールが3階にあるので、エレベーターで上がるのですが、このエレベーターがまた個性的な作りで、一言で伝えるならば業務用です。柵みたいなトビラを横にガラガラとスライドさせて開けるやつです。

写真がなく、うまく説明できませんが、なんとなく想像して頂けたでしょうか・・・

## ・テーブル左から

- ① スタッフづくりのちらしずし
- ② 「北湘」のカラアゲ
- ③ スタッフ手作りのおにぎり
- ④ 会場近くにあるお弁当屋さんのオードブル

こんな感じで、食事を用意してみました。



食事はどれもおいしかったとの事ですが、個人的にオススメするのは、「北湘」のカラアゲです！！

このカラアゲ屋さん、地元では結構人気がありまして、地元で撮られた映画のロケ弁として振る舞われた事があるようです。

ふる一む事務所に立ち寄られた際には、ぜひ味わって頂きたいものです。

## ON STAGE !!

では、ここからはステージで行われた、数々の名シーンを振り返りたいと思います。



スタッフのバックダンサーを2名従え、ピンクレディーの「UFO」を熟唱して頂きました！！

数日で完成したというダンスはなかなかのものでした！！

とてもインパクトのあるステージでした。



昨年までバンドを従え歌っていましたが、今年はなんと漫才にトライ！！

スタッフとの息もピッタリで、完成度の高さには驚きました！！

来年も期待してます！！

この後、サンタと共に大きなケーキが登場したり、大抽選会を行ったり、毎年好評である振り返りムービーを皆で観たりと、盛り沢山の内容で進行していきました。

そしてシメはこの方！！

本年度より新代表となりました。後郷法文の登場です！！



ぶるーむが産んだ名曲！「寝返りさせやがれ」  
(沢田研二の勝手にしやがれの替え歌)を熱  
唱！！

その後、なぜか「はじめてのチュウ」を英語で  
歌われていました。

・・・とこんな感じで今年も感謝祭を行いました。

いやあ 今年もスムーズに事が運びましたねえ。そう、スムーズに事が進んだのです。ス  
ムーズ過ぎるほどに・・・

おかげで、3、40分ほど時間が余ってしまったので、スタッフがSEKAI NO O  
WAR Iの「ドラゴンナイト」の曲に合わせて踊ることに・・・、私も担当として責任を  
持って踊りました。何度も・・・何度も・・・

曲をルーフして流す別スタッフに弄られながら・・・何度も・・・何度も踊りました。

そして最後には「帰れ！！」との罵声を浴び、涙を拭いながらステージを後にしたあの  
出来事は、私の胸に深く刻まれました。

そんなこんなで宴は終焉を迎え、最後はみんなで記念写真を撮りました。

今年も多くの方に参加して頂き感謝感激雨あられでございます。回を重ねる事に技術が向  
上していく皆さんを見ていて、ただただ驚嘆するばかりです。

今年も開催すると思っておりますので、みなさんのご参加を心よりお待ちしております。



# ぶゆう なのみちゃんの舞遊デ！

いわいな おみ  
岩井菜穂美

## 「アメリカ暮らしは四苦八苦」の巻Part4



みなさん、<sup>あ</sup>明けましておめでとうございます！  
2015年こそ、<sup>ねん</sup>良い年になるといいですね。

<sup>わたし</sup>私は「鬼の攪乱」で年頭から<sup>たいちょう</sup>体調を崩して、<sup>なん</sup>何にも出来ないしどこにも行けないという至極残念な<sup>ひび</sup>日々を<sup>す</sup>過ごしました。今年、<sup>ことし</sup>どんな年になるのやら…？

<sup>あいさつ</sup>挨拶はそれくらいにして、<sup>つづ</sup>書きを書かなきゃ！<sup>いじょうげんこう</sup>これ以上原稿が遅くなると、<sup>へんしゅうちょう</sup>編集長がノイローゼになっちゃう。

アメリカでの生活で何が一番大変だったか？って、<sup>かいじょしゃ</sup>介助者がダントツに大変だったワ。  
<sup>えいご</sup>英語もイマイチだし、<sup>いっけんこわ</sup>一見怖いものなしに見えるらしい私。でも実は、<sup>しごくざんねん</sup>小心者の一面もありまして英語で介助を頼むナンテ、<sup>おどおどし</sup>おどおどし「ダメよ～ダメダメ」って感じ。

<sup>じこしゅちょう</sup>自己主張が何より大事な国で、<sup>じこしゅちょう</sup>自己主張が出来なかったダメ子の私。料理をつくる時「<sup>まか</sup>お任せ」などと言ってしまったから、<sup>かんぜん</sup>完全に介助者（もちろんアメリカ人）にナメられてしまった。

<sup>かいじょしゃ</sup>その介助者は中年の主婦だったが、<sup>おうちやくもの</sup>どこの国にも横着者はいるもの。その女性もそんな輩で人前では一生懸命仕事するふりして、<sup>り</sup>2人になると手を抜くの。んな訳で、もちろんトラブルが<sup>はっせい</sup>発生。理由は<sup>りゆう</sup>何だったか<sup>おぼえ</sup>覚えてない。私もその人をキライだったが、<sup>あいて</sup>相手も私を<sup>き</sup>気に入らなかったようで2人して<sup>しやうちょう</sup>所長はじめスタッフの前に呼ばれ、<sup>はなし</sup>話を聞かれた。

このシチュエーションでどちらが<sup>ゆうり</sup>有利か分かるよね～！<sup>えいご</sup>ネイティブな英語をペラペラしゃべれる彼女と、<sup>か</sup>聞き取るのに<sup>せい</sup>精一杯でどうやって<sup>せいいっぱい</sup>言いたい事を伝えるか必死の私。相手が<sup>かくだん</sup>格段に有利でしょ!!

かのじょ じぶん しゅちょう どうとう の た わたし い はんろん で き じぶん い ぶん つた  
彼女は自分の主張を滔々と述べ立て、私とえば反論も出来ず自分の言い分も伝え  
られず、もどかしいことこの上うえなかった。

そして、叱られたのは私ひとり;) ひどいと思いませんか? 「通訳付けてくれ~」と心  
の底から叫びたかった。

その介助者は「ナオミの所は辞めたいが、次の人が見つかるまでは行く」とその場  
は言った。が……、その日の夕方に彼女は来なかった。電話で「なんで来てくれないの!？」  
と抗議したけど、「あんたん家に行くち い きぶん わると気分が悪くなる」  
って。それでも「今日だけでも!」と頼み込んでも「行か  
ない」の一点張り。

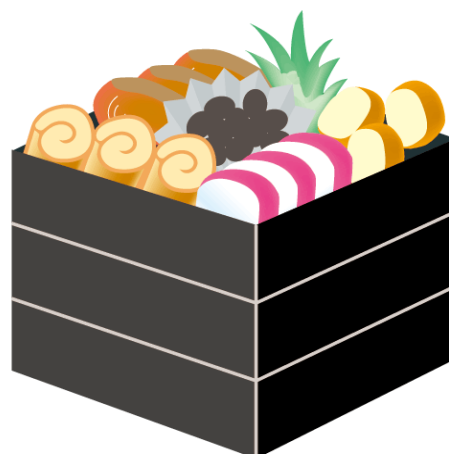


にほん かんが おうべいじん じ こ しゅちょうりょく  
日本じゃ考えられないよね。欧米人の自己主張力は  
スゴイ!! 結局、彼女に来てもらうのは諦めて、何人か他  
の介助者に連絡して日本人女性に来てもらった。

ほか 他にもトラブルはあって、若い女性介助者が時間を間違えて、数時間、トイレも空腹  
がまん わたし へ や なか あきら なんにん ほか  
も我慢して私だけポツンと部屋の中・・・ナンテ事もあった。

ちな 因みに、アメリカでは介助者をアテンダントと当時は呼んでいた。現在は、パーソナル  
アシスタントと呼ぶと聞いたような気がするが、定かではない・・・。

んなところで、次号へ続く(^o^)/~~





# Oh-Life

## 第9回 悪夢

最近はとても軽い話が多かったので、今回は少し苦い話を書いてみようと思う。これは今から約10年前、僕が高校2年生の時のことだ。

小・中・高どの学校でも年に1回は、福祉学習的な時間が設けられており、障害者またはその関係者による講演が開催されることが多かった。正直、僕はこの時間がとても憂鬱だった。講演が終了しクラスに戻ると、クラスメイトや周りの人たちから「KⅡくんもあんな感じになりなよ」とか「どうしてKⅡくんは講師の人みたいじゃないの？」的なことを言われるのが常だった。小学生の頃はみんな好奇心の延長なのだが、中・高生になってくると、その講演で感じたことをしつこく熱弁してきたり、明らかな嫌味を言ってくる人もでてきた。

そして、高2の僕も障害者の人の講演を聞くこととなった。その時に話をしてくれた人は、車いすバスケットで有名(?)な人だった。文系オタク男子の僕にとっては最も苦手な人たちである。加えて、車いすバスケットの話題というのは誰が聞いてもわかりやすい、健全者ウケ抜群の鉄板ネタだ。「これは講演後、一部のクラスメイトや先生から色々言われるパターンだな」とその時点で僕は腹をくくった。講演の内容を要約すると「障害は不幸じゃない・努力すれば何でもできる・俺TUEEE!!」の三点だった。クラスに帰ってからの対応を考えている僕に、衝撃の情報が飛び込んできた。この後、講師の人たちと直接話をするようになったのである。その時の僕は、もう嫌な予感しかしなかった。

ここは、無難に切り抜けようと思った僕だったが、講師の人たちは甘くなかった。お互いの自己紹介が終わるとすぐ「車いすバスケットやらない？」という話に切り替わってしまった。バスケットを断るとテニス、それを断るとよく名前の知らないスポーツが次から次へと・・・。

もう答えに困り切った僕は、「僕、手にも意外と障害があるんですよ」と苦し紛れに返したのだが、「もっと障害の重い人だってやっているのよ!! そそも何やっているの? どうせ家に籠ってパソコンばっかやってるんでしょ?」と講師の関係者から一蹴された上に、手痛い追撃までくらってしまった。

この場には、僕の学校から障害者の後輩と介助の先生の二人も参加していたのだが、こちらは車いすバスケットに興味津々だったらしく、講師の人ともすぐに意気投合していた。こうなると、この場での僕の居心地は最悪なのだが、話はまだまだ終わりそうにない。この後も「積極性が無い」「覇気が無い」「情けない」と好き放題言われ続けた。まあ8割くらい事実であるのだが、当時、絶賛思春期&反抗期中の僕にこの3項目を求めするのは無理な話なのである。この状況におかれれば僕のクラスメイトの大半も同じことを言われたはずだ。

確かに事実な部分も多いのだが、ここまで言われると流石の僕も心底ムカついてきた。「いくら車いすバスケットが凄いとはいえ、ここまで好き放題言って良いのか？ てか、この人たちは本当に講師なのか？ただ自己主張したいだけじゃないのか？」そんな憤りが僕の脳内でリピート再生され続けていた。話の途中で一度、介助の先生とトイレに行ったのだが、そのトイレの中で「どうして興味が持てないんだ？お前にはがっかりだ」と先生から言われた。この一言で僕の心は完全に折れてしまった。

話が終わった時には、僕の心はもう満身創痍だった。そんな僕に講師の人は、熱くこう言った「僕たちは仲間だ！！」と。その時の講師のさわやかな顔は今でも忘れられない。人の心を散々踏み荒らしておいて自分は「良いことをした」という感じの超満足した表情をしているのである。この時の僕はいったいどんな表情をしていたのだろうか？

10年経って改めて振り返ると、僕が序盤にハッキリ自分の意見を言うべきだったと思う。「僕は、車いすスポーツには興味が無い。そんなことよりも、今日の18時からあるガンダムの方が大切なんだ」と。まあ、その頃の僕はあくまで学生なので、講師の人に意見を言うのは立場上とても難しいかもしれない。10年後の今ならハッキリ言えるのだが・・・。

とりあえず、ページ数の都合上、今回はこのあたりで終わりにしようと思う。僕ももっと書きたいことがあるのだが、僕自身もまだ、この時の経験の全てを他者に伝えられるほど、上手くまとめきれてないのだ。おそらく、この経験が、僕がぶる一むに関わっている理由の根幹にあることは間違いないだろう。僕がこの経験やその時に考えたことの全てを他人に伝えることができた時、きっと僕は、また一回り成長しているのではないだろうか。

かつどう ほうこく  
活動報告

へいせい ねん がつ へいせい ねん がつ  
平成26年8月~平成26年10月

がつ  
8月



ひやくまんまつ ひろばしゅってん  
わっしょい百万夏まつり~ふれあい広場出店

ピアサポ

けんしゅう  
JRカスタマーサポート研修

イオンレシートキャンペーン

キネマン

しゅうちゅうこうざ しゅさいでまえこうし  
ピアカン集中講座 (あっとほうむぶれいす主催出前講師)

りじかい  
理事会

けんしゅう ちょうり  
ヘルパー研修◎A「調理」

よろず!!-49-

がつ  
10月



うみ なかみち  
海の中道マリンワールドツアー

しょうがい こうこうせい かい  
障害を考える高校生の会

けんしゅう  
JRカスタマーサポート研修⑩

イオンレシートキャンペーン

キネマン

きゅうだい でまえこうし  
九大インクルーシブデザイン出前講師

じりつしえんきょうぎかい  
自立支援協議会

がつ  
9月



ピアサポ

けんしゅう  
JRカスタマーサポート研修⑦

けんしゅう  
JRカスタマーサポート研修⑧

よろず!!

けんしゅう  
JRカスタマーサポート研修⑨

けんわかいしんじんかいいりょうだん せいねんしょくいん せい  
健和会親仁会医療団の青年職員からなる青  
ねん 年ジャンボリー出前講師

ずいしんきょう こくらけんしゅう  
推進協ブロック小倉研修

冬はこたつで

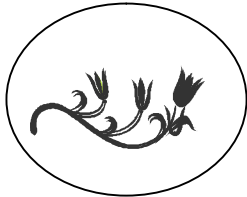
まったり~♪





あ 明けておめでとうございませう。今年もぶるーむ&ぶるーむ.com をよろしくお願ひし  
 ことし ます。まだまだ寒いですが、気合を入れて頑張りませう！！ 【KII】

## ■ロゴについて■



この3つが繋がったチューリップには、3J=「自己選択」「自己決定」「自己責任」の意味と、この北九州の地で自分らしい、いきいきとした花を咲き誇らせてほしい・・・という願ひがこめられています。

## ■会員募集■

自立生活センターの最大の特長は、運営や各種サービスを「障害者」自らが中心となつて行っていることです。これは、「障害者」にとって何が必要かということを一歩知っているのは「障害者」自身であると考えからです。

「自立生活センターぶるーむ」はこの考えのもと、2007年10月に産声をあげました。当団体の活動は、皆さまからのご寄付と会費により支えられています。

ご支援とご協力を願ひ致します。

会員種別	年会費
正会員 当法人の目的に賛同し、法人の活動に責任を持って参加していただける個人の方。	3,000円
賛助会員 当法人の事業を資金面などで賛助していただける個人及び団体の方。	5,000円

【銀行振込】 銀行名：西日本シティ銀行 室町支店  
 口座名義：特定非営利活動法人 自立生活センターぶるーむ 理事 田中雄平  
 口座番号：1694039

編集人 連絡先 NPO法人 自立生活センターぶるーむ  
 〒803-0818  
 福岡県北九州市小倉北区豎町2-1-5 豎町ビル1F  
 TEL 093-562-5431  
 FAX 093-583-3257  
 E-Mail [cil-bloom@nifty.com](mailto:cil-bloom@nifty.com)  
 URL <http://homepage3.nifty.com/cil-bloom/>

定価 100円